

地方部會の動き

第 7 回九州連合地方部會總會

會期 昭和32年5月26日(日)

會場 久留米市京町 BS 記念ホール

一般講演

1. 所謂血漿置換成血使用交換輸血兒の血液學的研究, 第1報: 兒の Aregenerative phase に及ぼす影響……………石上 秀雄 (九大)
 2. 皮膚の直流電氣抵抗と性周期との關係……………保 城 勉 (鹿大)
 3. 立體鏡的レ線撮影による骨盤計測法の検討……………今村 弘, 足達豊政, 竹島和夫 (熊大)
 4. 膣トリコモナス感染婦人の血清及び乳汁による免疫血清學的研究……………達木 泰爾 (長大)
 5. 重複子宮筋腫の1例……………萩尾 右藏 (久留米市)
 6. 少女に發生せる巨大なる腹部腫瘍の1例……………安尾 坤三 (長崎・深江診療所)
 7. 子宮筋層内妊娠の1例……………碓井 良介 (長大)
 8. 水溶性子宮卵管造影剤エンドグラフィンの使用經驗……………今村 弘, 竹島和夫 (熊大)
 9. 連續間接撮影による子宮卵管造影法……………有高秀一, 行徳博之 (九大)
 10. 分娩時異常後出血に於ての統計的觀察……………田代仁男, 坂口禎佑 (熊本遞信)
 11. 性ホルモンの血液凝固に及ぼす影響に就いて……………山下 大藏 (鹿大)
 12. Pregnanediol の臨床經驗……………森 一郎, 保城 勉 (鹿大)
 13. 所謂血の道症の治療經驗……………朱 以春, 大田重勝 (九大)
 14. 妊娠中毒症の藥物療法について……………宮崎好信, 山下 卓, 中村公郎 (熊大)
 15. 妊娠浮腫に對するダイアモックスの著效及び副作用……………八郷速雄, 石塚榮一 (福岡赤十字)
 16. 強化麻酔の使用成績……………長野正男, 三井志男, 立野一正 (門司鐵道)
 17. 子宮頸癌の附屬器蔓延について……………上田俊雄 (長大)
 18. 子宮頸癌治療後發生した膀胱腔癭に就いて……………宿輪 亮三 (長大)
 19. 過去10年間我が教室に於ける子宮癌根治手術後の自發尿管腔癭の臨床的觀察……………憑 瑞麒, 岸 正人 (九大)
 20. 新抗癌剤カルチノフィリンの子宮癌への應用 (第1報)……………木葉矩弘, 大塚 明
森 憲正, 伊藤翠子 (熊大)
 21. 手術不可能性子宮頸癌に對する Co^{60} 遠隔照射療法の臨床的並びに組織學的研究……………和田 正輔 (九大)
 22. 子宮頸癌に對する Co^{60} 作用の組織學的研究……………大保哲男, 瀧井慶二 (鹿大)
 23. Co^{60} 遠隔照射による癌細胞變化の電子顯微鏡的觀察……………渡邊英一, 湯田雅馬, 平木 齊 (九大)
- #### 誌上發表
24. 産科領域に於ける體溫の測定……………永井 忍, 宮蘭榮治 (鹿大)
 25. 骨盤諸關節の神經分布に關する研究(第2報)……………外西 壽彦 (鹿大)
 26. 卵膜を用いた人工造腔術の2例について……………吉村 順次 (熊大)
 27. 絨毛組織試験管内培養の基礎的條件 1. C・E・Eの影響について……………鮫 島 裕 (熊大)
 28. Heparinの排泄に就いて……………植田 健治 (九大)
 29. 新生兒の心電圖に就いて……………山内 啓年 (九大)
 30. 兩側卵巢腫瘍手術後の妊娠に就いて……………横山 幹生 (九大)
 31. 不妊婦人の腔内容像並びにグリコーゲン量及び基礎體溫について……………木村 隆夫 (九大)
 32. 子宮内膜症の實驗的研究……………竹 内 茂 (九大)
 33. 我が教室に於ける子宮頸癌治療成績……………安 部 宏 (九大)
 34. 子宮頸癌患者の腔内容像及び子宮内膜像……………駒井 義治 (九大)
 35. 長期治療癌に於ける人胎盤水溶性物質の皮内反應に就いて……………片淵 陽一 (九大)
- #### シンポジウム
- ##### 帶下の治療に就いて 司會 三谷教授
- i. 帶下と特殊微生物との關係……………朱 以春, 松本正敏, 角光 勳 (九大)

昭和32年8月1日

1045—83

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 2. 帯下治療と膣内グリコゲンとの関係…………… | 各種薬剤の効果……………田代仁男 他 (熊大) |
| ……………大地 又助 (九大) | |
| 3. 吾々が日常行っている帯下の治療法について… | ……………朱 以春, 松本正敏, 岸川政雄 (久大) |
| ……………藤井純一, 達木泰爾, 山本嘉三郎 (長大) | |
| 4. 帯下とくに膣トリコモナスによるものの療法に | 7. 種々薬剤によるトリコモナス膣炎の治療…………… |
| ついて……………松元 重達 (鹿大) | ……………内田孔平, 大淵達郎, 八木幹夫 (九大) |
| 5. 膣トリコモナス症及び膣カンディダ症に對する | 無形文化財郷土民藝紹介 (幸若舞) |
| | 一般懇親會 (B・S 會館) |

— 第17回關東連合地方部會總會豫告 —

- 日 時** 昭和32年10月12日(土) 午前9時—午後4時
- 會 場** 宇都宮市塙田町 栃木會館
- 演題申込**
- × 切 宛 先** 昭和32年9月1日(書留郵便)
宇都宮市塙田町 558 栃木縣醫師會館内
日産婦學會栃木地方部會長 中 田 敏 治
- 注 意**
1. 演題には500字程度の抄録を添付のこと
 2. 圖表はライカ判スライドとすること(10枚以内)
 3. 同一機關から多數出題の場合は順位をつけること

矢追抗原

精製痘苗 PVL_YA01

本剤は元東大教授伝染病研究所々員、矢追博士が創製され、多年東大伝染病研究所に於て「精製痘苗」として試験製造されてきた「牛痘ウイルス浮游液」で今回当社が同博士直接監督指導の下に之を製造、販売することになったものである。

【適應症】 気管支喘息、蕁麻疹、ストロフルス、皮膚炎、つわり、フリクテン、リウマチ、等。

【用法、用量】 I 注射方法 皮下注射 II 注射部位 適常上膊外側(なるべく上位)

III 注射量 1. 初回注射量 未種痘者……………0.1cc 小児(12才迄)……………0.2~0.3cc

13才以上……………0.4~0.5cc 2. 第2回以後の注射法 初回注射翌日局所に発赤(アレルギー反応)を認めたら引

続き、発赤を認めぬ場合は5~7日後より、連日又は隔日注射し、週を経る毎に0.1cc宛増量する。

3. 種痘免疫のある人には初めから倍量程度を注射して支障はなく、むしろその方が著効を奏することが多い

〔包装〕 10cc バイアル



販売 鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-8

製造 日本ワクチン株式会社